

安全マニュアル 6 (スキndaイビング)

2020年11月1日改訂

東京大学大学院理学系研究科附属臨海実験所 (採集室)

1. スキンダイビングにあたって

- ・ スキンダイビングを行うにあたり、当実験所では以下の資格が必要です。
 - *潜水士免許 (国家資格)
 - *ダイビングライセンス (Cカード)
- ・ 上記資格があっても、泳げない方は活動できません。
- ・ 必ず二人以上でバディシステムを使ってスキndaイビングを行ってください。
- ・ 機材の貸し出しはしていません。
- ・ 各自で器材の点検・整備を行ったうえでお越してください。
- ・ 怪我や日焼け等防止のため、ウェットスーツ・ラッシュガード・レギンス・マリンシューズ・グローブなどを着用してください。

2. 気象・海況等の確認

- ・ 採集を行う前に、当日の気象・海況を必ずインターネットなどで情報入手した上で、実施の可否について採集室に必ず確認してください。
- ・ 実施の判断がつきにくい状況の場合、採集室からもアドバイスいたしますが、実習の場合は担当教員が最終判断を行ってください。研究者の場合は、採集室が最終判断を行います。

3. ダイビングの前に

- ・ 当日体調の優れない方はダイビングできません。必ず技術職員に報告してください。
- ・ ダイビングの前には必ず準備体操を行ってください。

4. ダイビング中の注意

- ・ 必ず所定の赤色の採集旗とA旗を持っていき採集場所に掲げてください。旗は教育棟実習室にあります。
- ・ 常に冷静に行動してください。

4-1. 採集禁止の生物

みうら漁協では、漁業資源として下記の重要な生物の採集は禁止されています。アサリ・マガキ・イワガキ・サザエ・アワビ類・トコブシ・バテイラなどの貝

マダコ・イイダコ・イワイソメ・イセエビ・シャコ・ムラサキウニ・アカウニ
・マナマコ

ワカメ・ヒジキ・カジメ・アマノリ類・カヤモノリ・マクサ類などの海藻

※警察官・海上保安庁等が巡回していますので絶対に採集しないでください。

4-2. 危険な生物

危険な動物に注意してください。万一、受傷した場合は、速やかに病院で医師の診察を受けてください。

1)ヒョウモンダコ…[図 1]

フグ毒をもつので、噛まれると危険。

2)アカエイ…[図 2]

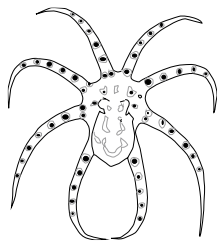
砂に埋もれているものを踏みつけると、尾部の毒棘に刺される。深い傷を受けやすく、毒も強いので危険。

3)ゴンズイ…[図 3]

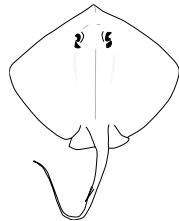
ナマズの仲間、背びれと胸びれに強い毒棘があり刺されると激痛が長時間続く。

4)ハオコゼ…[図 4]

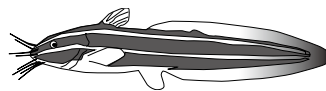
赤い小形魚で、背びれ・腹びれ・尻びれに毒棘が並ぶ。



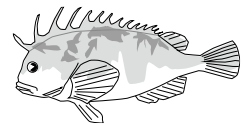
[図 1]ヒョウモンダコ



[図 2]アカエイ



[図 3]ゴンズイ



[図 4]ハオコゼ

5)この他、マダコも咬毒をもち、カサゴ、オコゼ類も毒棘をもつものがあるので、タコと魚は全般に用心すること。

6)クラゲ類でも、カツオノエボシ[図 5]、アンドンクラゲ、アカクラゲなど毒の強いものが磯に吹き寄せられていることがあるので、素手では触れないこと。

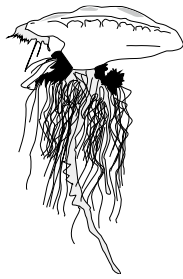
7)ウニ類では、ガンガゼ[図 6]、ラップウニ[図 7]、イイジマフクロウニなどは毒棘をもつ。特にガンガゼは、非常に長い棘があり、深く刺さりやすく、折れやすいため抜けなくなる。ムラサキウニやタワシウニは磯の表面にも生息していて、勢いよく踏みつけると長靴や運動靴でも棘が靴底や側面を

突き抜けて怪我をするので、歩く場所にウニがないことを確認して足を踏み出すこと。バフンウニは採集する時に、細い棘が指に刺さることがある。

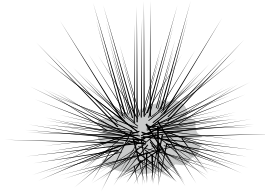
8)カヤ類（シロガヤ[図 8]、クロガヤなど）に触れると、刺胞により痛みがゆくなる。

9)ゴカイやイソメ類の口には、強力な顎歯があり、それに噛まれることがある。特にオニイソメは巨大なため、噛まれると激痛を伴うので注意を要する。また、チロリは吻を出したときに刺すことがあるので注意する。ウミケムシには、剛毛があり、触れると激しい疼痛を覚え、皮膚炎をおこす。

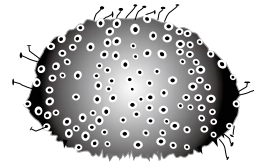
[図 9]



[図 5] カツオノエボシ



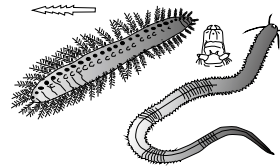
[図 6] ガンガゼ



[図 7] ラップウニ



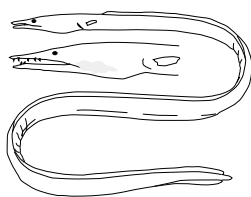
[図 8] シロガヤ



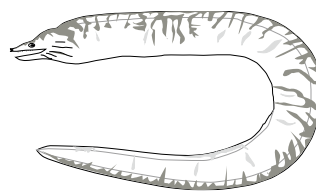
[図 9] ゴカイ

10)毒はないが爪や歯が鋭く危険なものには、ウミヘビ類（ダイナンウミヘビ[図 10]などの魚類）、ウツボ[図 11]、ワタリガニ類（イシガニ[図 12]、ガザミ、ベニツケガニなど）、シャコ類[図 13]、マガキガイ[図 14]などがある。

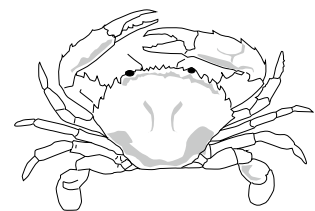
11)また、食べると危険なものとしては、フグ類をはじめ、オウギガニ類（特にスベスベマンジュウガニ[図 15]）、モミジガイ類（特にトゲモミジ[図 16]）などがある。



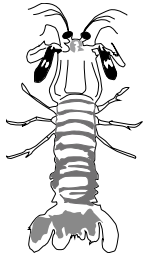
[図 10] ダイナンウミヘビ



[図 11] ウツボ

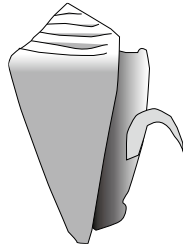


[図 12] イシガニ



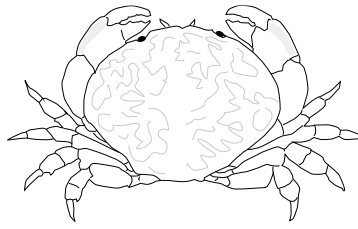
【図 13】

モンハナシヤコ



【図 14】

マガキガイ



【図 15】

スバスバマンジュウガニ



【図 16】

トゲモミジ

12) 石灰海綿、トゲトサカの仲間は体に骨片があり、触った後に目をこすると失明の恐れがある。

★緊急連絡先★

- ・ 臨海実験所事務室：046-881-4105
- ・ 採集室：046-881-4107
- ・ 東京大学理学部地区防災センター：03-5841-8299
- ・ 三浦市立病院：046-882-2111